

6. 6. 16
2606

本機式解雇、場合ハ本現業ニ依ル退職手當ハ八分七六
 六後業員及後年並令ハ五十五トス
 七、若シ解雇手當ハ別計算トシ右表記載日数中ニ含まルモノトス
 八、昇給制度実施セラレタシ
 昇給制度実施期ハ未定トスルコト、今後一ニ年間位ハ現業ノ俸、日給額ヨリ昇給セラレタシ
 従業員中ヨリ探行技術者ニ優遇ニシテ労働ナクモ、二割ヲ還空シテ左ノ標準ニ
 依リ昇給スルム
 社上ノ部、機械部、鑛部、鐵塔部、洋機部
 日給一円八十文ヨリ二月五十五文迄ノモノ、一年一四七文
 二月五十五文ヨリ三月四十五文迄ノモノ、一年一四七文
 三月五十五文ヨリ三月五十五文迄ノモノ、二年二四七文
 一月五十五文以上ノモノニ付シテハ特別ノ枚数アリト認メタルモノニ限リ三年ニ
 一割ヲ昇給ノコト
 薪役部、倉庫部
 一年一回トシ一月ノ昇給額ヲニ分乃至三分トス
 二、薪役最高日給ハ二月五十五文限度トス
 三、年令五十五才ニ達シタル場合ハ昇給ハ一時停止ス
 四、昇給六(見習年限ハ満年一才迄トス
 五、二年一回五文昇給
 六、見習工ハ日給一円八十文ニ達シタル場合ハ昇給ヲ停止ス
 七、二年一回賞與額ノ支給
 八、賞與金(賞與)ハ労働者ニ依リテ支給スルモノニシテ年々ニ於テハ大体折
 半日給ノ二日分ヲ標準トシ各自ノ労働状況及功高ニ比率ニ依テ支給シテ分配ス
 ルモノトス(賞與金分官ウケ)

労働第二三一七号
昭和六年六月十二日

警視總監 高橋 宇雄

内務大臣 安達 謙藏
 社会局長 長官 官殿

留中工場労働争議ニ關スル件

發生者、一解決ノ
 用労働者之由
 手議参加者之由
 關係労働組合會云々
 労働者

要旨 六月十日職工五十五名解雇、次職工六日給ニ期満額及一週一日ノ休日ヲ増加セシ
 為シ、経営員ハ之ニ反對シ十日午後ヨリ罷業ニ入ル

標記工場ニ労働争議發生マシク状況左記ノ通り

一 發生ノ場所 東京市芝区三田豊岡所ニ番地

記